



第31回 拡大委員会を開催!
東日本本部

議長 盛岡地本 佐々木委員
 副議長 東京地本 水越委員

● 1 国労東日本本部拡大委員会
 国鉄労働組合 東日本本部

● ① 新橋・横倉委員
 駅では委託化が進みホーム要員もいなく、年々増える乗務キロで車掌は劣悪な労働実態に。
 ● 広がりがつつある拡大運動、引き続き組対費の徴収を。

委員からの発言

● ② 新潟・本多委員
 ● 新津車両製作所を丸ごと J・TREC に移管するのは乱暴なやり方。出向者は JR に戻る時に同種の職場がなくなり、3 年期限の労働使協定もなし崩しになる。新潟地本はこの施策について、2 月 14 日に団体交渉を行う。

● ③ 上野・岡部委員
 ● エルダール雇用後の最初の期末手当では、出生月による大きな差があり、早急に是正すること。
 ● 駅職場では消費税増税に対する勉強が滞り、増税後混乱を招く。見切り発車が心配!

● ④ 秋田・高橋委員
 ● 平成採の若者が昨年 6 月に国労加入。話をする中で国労は真面目で、本来組合が行うべき事をやっている、という評価になり加入してくれた。

● ⑤ 長野・富沢委員
 ● 地本ではこの半年で旅客 1 名、貨物 2 名の拡大があった。職場や分会と同時に地本全体で取り組んだ結果。新採の獲得に向けて取り組み。

● ⑥ 千葉・樫尾委員
 ● JR 東日本は全ての職場に合理化を推し進めている。若手への技術継承がさげず、人が足りずに業務が繁忙。安全・安定輸送の構築とサービス低下を許さない闘いが重要。
 ● 千葉鉄道サービス会社と

● ⑦ 仙台・大橋委員
 ● 2011 年 2 月飯山線の踏切事故が発生。以降、鳴動持続となった場合の取扱を策定したが、現場では実情に合わないルールと現場対応の板挟みで精神的ストレスが増大している。この問題について昨年 1 月に支社との団交で会社側の譲歩を引き出し、ルールを改善

● ⑧ 特別発言・貨物・榎戸
 ● 14 年連続ベアゼロの中、社長は「賃金抑制に踏み切る」と発言。それに対し、「賃金抑制」計画中止の署名運動を展開してきた。
 ● JR 貨物に対し「構造矛盾の解決無くして鉄道貨物輸送の発展はない」と国労

国労東日本本部は、2 月 11 日、埼玉県さいたま市で第 31 回拡大委員会を開催しました。
 討論では、貨物協議会からの特別発言を含め 15 名が発言し、14 春闘、組織強化・拡大をはじめとする当面する闘争方針を確立しました。
 今号は委員会特集号として委員長挨拶、委員からの発言要旨と書記長集約を掲載し、報告とします。

国労東日本

(組合員の購読料は組合費に含まれます)
 港区新橋5-15-5 交通ビル
 国労東日本本部
 発行責任者 松井正義
 編集責任者 伊藤隆夫

No. 748 定価 20円
 2014年 3月5日

踏み出そう 仲間は声を待っている

<http://www.e-nru.com/>
 携帯用ホームページはこちらのQRコードから



委員長挨拶 要旨
 (全文はHPに掲載)
全組合員が共有できる 取り組みの展開

安倍内閣は戦争をする国へと急展開で変質させようとしている。これとの闘いが第一の課題。誤った歴史を繰り返すことは決して許されない、子々孫々に恥じぬ道を選択し、反戦・平和の取り組みの再強化が求められている。
 第二は、組織強化・拡大の強化と方向性についての課題。
 私たちはどういう組織を目指し、誰のための運動を展開するのか。「行先の無い列車もバスも無い」、発足時社員数は 82,500 人、27 年経過し 56,000 人の現状。一方でグループ会社全体では、10 万人を超えるともいわれ、大多数は「非正規」雇用の労働者である。
 根幹をなす「安全・安定輸送」は、正規社員のみならず数多くの非正規雇用の仲間によって支えられている現実を労働組合として見据えなくてはならない。
 グループ会社で働く全ての仲間の視点に沿った組織の確立と運動の展開が求められる。その為の議論を深度化する必要がある。
 第三は、安全・安定輸送の確立に関わる課題。JR 北海道問題を、「対岸の火事」で済ませることは出来ない。
 この間、「仕事・職場安全総点検」を提起してきたが、改めて総括が必要であり、具体的な取り組みを展開していく決意。
 第四は、春闘についての課題。
 中央委員会にてベア 1 万円を決定。東日本本部は、「所定昇給額」に消費税率アップの 3% を乗じた額を加えることを確認した。今後は全組合員が共有出来る取り組みの展開が求められている。
 賃金は労働条件の最たるもの、9 地本の総団結が図れるための委員会であることを訴え、東日本本部執行委員会を代表しての挨拶とする。

は繰り返し主張。客貨一体となった取り組みと他労組を巻き込んだ運動が必要。

●関東貨物協で拡大が3名あり、勢いづいている。嘱託社員が多くなっており、組織拡大は喫緊の課題。「退職まで国労で」を合い言葉に、社員・プロパー社員と一体になった労働条件改善と組織拡大に取り組む。

●地区本部では大会以降2名の拡大。契約社員の正社員化を勝ち取る闘いと、委託駅が増加する中でプロパー社員への組織化も重要。

●加入した2人に共通するのは、職場での国労の先輩達の日常的な世話役活動と、職場の中心軸として活動する姿を示して粘り強く信頼関係を築いてきたこと。

●地区本部では大会以降2名の拡大。契約社員の正社員化を勝ち取る闘いと、委託駅が増加する中でプロパー社員への組織化も重要。

●加入した2人に共通するのは、職場での国労の先輩達の日常的な世話役活動と、職場の中心軸として活動する姿を示して粘り強く信頼関係を築いてきたこと。

理化で労働条件低下や利用者へのサービス低下に繋がる。東日本本部としての具体的な取り組みと、地方との様に連携するのかが?

●被災線区の山田線・宮古(釜石間の復旧問題。JR東日本会社は復興調整会議の中で復旧させた沿線4市町へ無償譲渡、後に運行を第三セクターの三陸鉄道へ移管する案を提示した。震災直後に「責任を持って復旧を行う」としながらの「丸投げ」は疑問。社会インフラを担う企業としての社会的責任を労働組合の立場から求めたい。

ち取った。当該分会は「スピードとタイムミングが重要。ギアチェンジを図る」と自信を深めている。

●被災線区の山田線・宮古(釜石間の復旧問題。JR東日本会社は復興調整会議の中で復旧させた沿線4市町へ無償譲渡、後に運行を第三セクターの三陸鉄道へ移管する案を提示した。震災直後に「責任を持って復旧を行う」としながらの「丸投げ」は疑問。社会インフラを担う企業としての社会的責任を労働組合の立場から求めたい。



書記長集約

職場と地域から闘い抜くため その先頭に立ち 奮闘する 東日本本部が

●効率化施策に対する交渉を含めたあり方について。今の施策はグループ経営構想に基づきスピードアップ化されている。基本的なスタンスを明確にし、また直しの検証を行い現場の声を反映したい。

●書記、専従者問題については、書記長会議で地方の意見を聞きながら相談したい。

●2014春闘について。国労統一要求額10,000円に加え、東日本としては所定昇給額に一律増税分3%を求めていく事とし、12日に東日本会社に申し入れる。国労本部は、3月7日に中央行動を設定している。東日本本部は、交渉に全力を挙げると共に、回答指定日を14日に行いたいこと、そこまでのゾーンを東日本の各地方の集中行動日とし取り組んでいってほしい。

●組織強化・拡大について。本部指令を受けて組織拡大

大運動を取り組んできた。東日本としては、組織拡大をタイムリーにお知らせするため、組織部報やHPの活用をしていく。

他労組、会社の状況など様々ある中で、情勢をしっかりとらえる事が大切。情報などについては共有化を図るためにも適切にお知らせをする。

グループ会社に働く仲間との組織化。とりわけ、JESSに対しては2月6日に申し入れを行った。引き続き、東京地方本部と連携をとりつつ労働条件改善に向け、慎重かつ丁寧な対応を図る。

●安定安全輸送の確立、労働条件改善の闘いについて。東日本の施策の進捗度合いはスピードアップされている。一方、貨物に於いても鉄道事業の収支改善を前面に打ち出し、さらなる合理化・効率化が進められようとしている。北海道問題、データ改ざんはあってはならない。「安全・安定」輸送を下から支える中では、今回の問題は北海道だけの問題ではない。触車や車両脱線・発煙、三大労災などグループ会社も含め発生している。安全問題や技術継承をしっかりと会社と議論し、改善を求めていく。2月12日には「申」を提出する。

山田線・大船渡線の関係については、本部とも相談したい。常磐線の復旧工事にあたる業者の除染などの関係は、当該の地方本部と連携し取り組みたい。

●和解の主旨に沿った公正・公平な制度運用の確立を求める取り組みについて。交渉の中でも事象に対しては議論してきた。新採配属の扱い

●和解の主旨に沿った公正・公平な制度運用の確立を求める取り組みについて。交渉の中でも事象に対しては議論してきた。新採配属の扱い

●和解の主旨に沿った公正・公平な制度運用の確立を求める取り組みについて。交渉の中でも事象に対しては議論してきた。新採配属の扱い

●和解の主旨に沿った公正・公平な制度運用の確立を求める取り組みについて。交渉の中でも事象に対しては議論してきた。新採配属の扱い

●和解の主旨に沿った公正・公平な制度運用の確立を求める取り組みについて。交渉の中でも事象に対しては議論してきた。新採配属の扱い

●和解の主旨に沿った公正・公平な制度運用の確立を求める取り組みについて。交渉の中でも事象に対しては議論してきた。新採配属の扱い

●和解の主旨に沿った公正・公平な制度運用の確立を求める取り組みについて。交渉の中でも事象に対しては議論してきた。新採配属の扱い

●和解の主旨に沿った公正・公平な制度運用の確立を求める取り組みについて。交渉の中でも事象に対しては議論してきた。新採配属の扱い

●和解の主旨に沿った公正・公平な制度運用の確立を求める取り組みについて。交渉の中でも事象に対しては議論してきた。新採配属の扱い

知らない。「安全・安定」輸送を下から支える中では、今回の問題は北海道だけの問題ではない。触車や車両脱線・発煙、三大労災などグループ会社も含め発生している。安全問題や技術継承をしっかりと会社と議論し、改善を求めていく。2月12日には「申」を提出する。

山田線・大船渡線の関係については、本部とも相談したい。常磐線の復旧工事にあたる業者の除染などの関係は、当該の地方本部と連携し取り組みたい。

●和解の主旨に沿った公正・公平な制度運用の確立を求める取り組みについて。交渉の中でも事象に対しては議論してきた。新採配属の扱い

については、昨年の事象含めて今年も再発防止を強く申し入れる。●政治闘争の強化について。都知事選の結果を受け、原発推進の声が強まる事が懸念される。今の、戦争のできる国づくりに向けた政局や、新潟・群馬県でのオスプレイ飛行訓練問題など、国労としても春闘行動などに併せて労働運動の強化に全力を挙げる。●9地方本部が心をひとつとして、職場と地域から全力をあげ闘い抜くため、東日本本部がその先頭に立ち奮闘することを申し上げ集約とする。

最新のがん治療に合わせて進化したアフラックの新しい「がん保険」です。生きるためのがん保険 Days. Affac アフラック (アメリカンファミリー生命保険会社) 東京第三法人営業部 〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル Tel.03-3344-1459 Fax.03-3344-4036